

# 学校だより

令和7年12月1日(月) 第8号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



## 学校評価アンケートの結果を受けて

校長 細井博幸

令和7年も最後の一か月、12月を迎えました。正門前の櫟の葉も真っ赤に色づき、学校周辺は落ち葉が目立つ季節となりました。本校では、山田さんと佐藤さんのお二人が、用務員として交代で勤務していただいています。体育館脇には、お二人で集められた落ち葉がぎっしりと詰まったビニル袋がうず高く積み上げられ、その量の多さに圧倒されます。用務員のお二人の労力には頭の下がる思いですが、お陰様で日々整えられた美しい環境で学ぶことができていることに、改めて感謝の思いでいっぱいです。生徒達にも落ち葉の季節に、落ち葉がきれいに片付けられていることを当たり前と思わず、用務員のお二人への感謝の思いをもってもらいたいものです。



さて、今年も10月下旬から11月上旬にかけて、生徒、保護者、教職員を対象とした学校評価アンケートを実施いたしました。回答に御協力いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。結果につきましては、別途「学校だより特別号」として配付しておりますので、御確認ください。今回御回答いただいた結果につきましては、今月から来月にかけて、項目ごとに分担している担当教職員が今後の取組について検討し、学校運営協議会において改善策を提案、実行していく流れとなります。全ての御意見や御要望に対し、すぐに応えられる訳ではありませんが、これまでの西原中学校の積み重ねを踏まえながら、一步一步着実に改善を図ってまいりたいと考えております。

今回の学校評価アンケートは、私が校長として着任して3回目の実施となりました。2年前の1回目で大きな課題として感じた項目が、毎年学校だよりでも取り上げておりますが、保護者アンケート設問13「学校は、保護者、地域の協力、願いを受け止めて、学校の教育活動を進めている。」、設問14「学校は、保護者や地域の人々との連携を図って教育活動を進めている。」において肯定的な回答の割合が低いことでした。ここ3年間の結果を比較してみますと、

設問13 80.2%→84.6%→90.3%

設問14 78.4%→80.2%→87.7% (※R5→R6→R7)

と、いずれも大幅な改善を図ることができました。この3年間を振り返ってみますと、学校運営協議会の活性化、地域貢献のためのボランティア活動の充実、スクリレによる各種お手紙の配信、スクペイによる集金、体育祭の保護者参観席の拡大、合唱祭の地域施設利用とオンライン配信の実施、体育着登校可能期間の設定と校内での体育着で生活する時間の拡大、インナー・靴下等の指定色の緩和、夏季休業中の自転車利用の許可など、本校教職員の協力のおかげで様々な取組にトライすることができたと考えています。一方で、保護者アンケート設問10「学校は生徒の悩み事に対して、相談できる体制を整えている。」については、82.4%→80.8%→76.6%と年々低下しています。心と生活のアンケートの実施と結果を受けての組織的な対応の充実、校内教育支援センター(Sola るーむ)の新設、定期テストにおける欠席課題の実施、さわやか相談員・スクールカウンセラー等による相談体制の充実、各種専門機関との連携等に取り組んでまいりましたが、新たな課題として真摯に受け止め、改善と周知を図ってまいりたいと思っております。2学期も残り少なくなりましたが、引き続き、本校教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。